

第88回火山噴火予知連絡会 議事録（有珠山部分の抜粋）

日 時：平成13年2月5日（月）13時00分～18時45分

場 所：気象庁第1会議室

出席者：会 長：井田

委 員：宇井、野津、渡辺、歌田、鍵山、平林、藤井（直）、清水、布村、須田、須藤（茂）、村上（代理：地理院）、植田、岡田（義）、内池、竹内、中禮（代理：気象研）、望月

臨時委員：石井、武尾、土井、勝井、大島、小山、津久井、荒牧、中村

名誉顧問：下鶴

オブザーバー：森（北大理）、関、黒沢（内閣官房）、吉田、早川（文科省）、中辻（内閣府）、宇都、篠原（地調）、佐々木、大瀧、小荒井、松尾（地理院）、加藤（海保）、鶴川、大倉（防災科研）、廣田、福井、山本（哲）、坂井、藤原（気象研）、角村（地磁気観）、浦塚（通総研）、宇平（海洋科学技術セ）、杉村（消防庁）、高橋、斎藤（岩手県）、野口、塚原、宮崎（東京都）、佐久間（三宅村）、岩田（静岡県）、細田（山梨県）、前田（仙台管区气象台）、酒井、小林（盛岡地方气象台）、高橋、稲葉（福島地方气象台）、小久保（東京管区气象台）、三村（甲府地方气象台）、柿下（静岡地方气象台）、田崎（三宅島測候所）

事務局：山本（孝）、小宮、山里、佐久間、西脇、湯山、濱田、横田、川津、三上、小出

（中略）

4. 最近の火山活動について

1) 三宅島

（中略）

2) 北海道の火山

＜資料の説明＞

① 気象庁

- ・有珠山、空振収まってきている。GPS変化も鈍る。
- ・噴煙放熱量、今までどおり。
- ・北海道駒ヶ岳、気象庁資料、微動に伴い傾斜変動があった、観測体制について説明。樽前山、地震増加。雌阿寒岳、基本的に変化なし。十勝岳、顕著な異常なく、静穏。
- ・雌阿寒岳、全磁力観測結果。

② 北大

- ・有珠RKでは同じレートで沈降が続いている。駒ヶ岳、GPS観測で変化ない。

③ 地調

- ・有珠山、光波測距、鈍化しているが、火口近くでは、変動続く。

④ 地理院

- ・有珠山、西側を中心とする収縮は現在も続く。地殻変動止まったのは修正を。山頂付近でこれまでと異なる変化、凍って動いた形跡がある。北海道駒ヶ岳、GPSに変化なし。

＜全国の火山活動文案の検討＞

- ・有珠山は、観測事実に合わせて、「沈降は、鈍化しながらも継続」とする。
- ・有珠山のマグマ活動は終わったが、地熱活動は続いており、警戒は解けないと考える。

3) 東北の火山

（以下略）

（全文は、会報第79号に掲載）